

私のちいさなよっしゃ！	
1. Tシャツ1枚の心遣いで心地よい環境をつくれてよっしゃ！ 賞	
投稿者	A 様
プロフィール	本館 CW 2010年 入職
内容	<p>コロナ禍で、外出や面会が制限され、楽しみが少なくフロア全体が暗い雰囲気になってしまいます。少しでも明るい雰囲気作りがしたいと思い、職員の服装について明るい色を着用しないかと提案したところ、賛同してピンクや赤、緑のTシャツを着用してくれた。</p> <p>動き回る職員が明るい色を着ることにより、フロア全体の雰囲気も明るくなり、ご利用者からも「きれいな色やな、パアツとして、うれしくなるわ」と声をかけていただき、とても嬉しく思いました。</p>
評	<p>テンダーヒル御所では、ただ作業や仕事としてご利用者と接するのではなく、より身近な存在として一緒に過ごし、生活を支えたいと考えています。施設にお住まいではあるけれど、できるだけつるげる家庭的な雰囲気を作りたいたと、作業や、業者をイメージする統一したユニホームではなく、家庭内と同じように自由な服装でご利用者の日常生活にとけ込みたいと考えています。</p> <p>今回のよっしゃ！についても、ただ目的無く自由な服装をしているだけでは単なる手段ですが、フロアの雰囲気を明るくしたい、ご利用者の楽しみ作りをしたいと色とりどりのTシャツを着ることで、フロア内の一体感やその気持ちがご利用者にも伝わると思っています。これからも着る服のようにご利用者のことを考えた選択をしていただきたいと思ひます。1人の意見に賛同してみんなで取り組めるという雰囲気があること、色彩を考えることが介護にもつながる、スタッフの意識も変えることができるという、A様ならではの発想が素敵です。</p>
2. 人はみな繋がっていて、生かされているのだと気づかせてもらえるよっしゃ 賞	
投稿者	B 様
プロフィール	わかば館 訪問介護ヘルパー 2014年 入職
内容	<p>夫の両親の介護を長年し、2人とも見送ることができました。振り返ると、ああすれば良かった、あれは良くなかったと後悔や反省が色々あります。今、ヘルパーとして訪問する際に、その経験を生かして、安心して貰えるヘルパーでありたいと考え行動できているのは、両親の介護のおかげです。入所された方の気持ちを推し測る時、母もそうやったのかな？と思ひ返します。亡くなったあとも、母や父が私を支えてくれていると感じます。</p> <p>反対に、仕事で学んだ掃除の仕方、調理の段取り、技術、速さは今の私の生活に役立っています。ヘルパーの仕事を通して、私の生活が充実し、人間的に成長できていることに、小さなよっしゃ！を日々感じています。</p>
評	<p>介護体験で得られた思いや気づきを、訪問先のご利用者の安心につなげられるよう意識してくださっていること、それが両親のおかげと思ひておられる考え方や意識の持ち方のすばらしさに感動しました。</p> <p>働くことはお金を稼ぐことかもしれませんが、自身の日々の日常や生活、人生に役立つ仕事だと認識することで、やりがいやいきがいに繋がるように思ひます。嫌々不満をいながら仕事をするのか、日々の仕事や関わりで感謝して仕事をするのかは自身にとって大きな差があると感じます。</p> <p>生活での実体験が仕事に、仕事が生計につながり、そのように感じられるのは両親のおかげで、自分の支えになっていると思ひること、すべてが繋がって相乗効果でより充実がはかれていること、意識の持ち方で成長にも繋がるとても素敵なよっしゃ！でした。</p>
3. 「これでよかったんだ！」と思ひたときの喜び、これぞちいさなよっしゃ 賞	
投稿者	C 様
プロフィール	みのり館 CW 2018年 派遣職員として入職
内容	<p>コロナウイルスの影響で、大好きなカラオケができなくなってしまったご利用者に、アカペラで歌っていただけるよう手拍子や誘いかけをして機会を作っていました。</p> <p>9月の機能訓練計画に『歌を歌い発生練習をする』という項目が、導入されました。これまで私がしていたことが、機能訓練に少しでもなっていたと思ひ、嬉しくなりました。</p>
評	<p>利用者が求めておられるものに気付くことができる、また自分も楽しみながらその機会を持つようとしている、一番身近で接しているCWの仕事の楽しみが感じられます。</p> <p>今回は、自分がお利用者のことを思い実践していたことが、ご利用者の生活をより良くするために、継続して実施できるよう計画に導入されたことで、自分が利用者を思い続けてきたことがこんな意味をもつことであつたと実感でき、多職種が連携して利用者を支えるチームのなかでのCWの役割、存在を実感できたよっしゃ！でした。</p>

あの人のちいさなよっしゃ！

1. みんなのために自分ができることを考えてたら、みんながよっしゃをくれました 賞

投稿者	E 様
プロフィール	わかば館 事務員 2016年入職
あの人☆	F 様 わかば館 ケアマネジャー 2018年入職
内容	わかば館事務所で電話や来所を受け付けた時、担当者が不在の場合は『伝言メモ』として伝達するソフトをF様が以前つくってくれていました。そのソフトは、ご利用者様の支援経過を見ることもできます。 先日担当者がお休みの時に、外部のヘルパー事業所より利用者様の次回受診の日時を聞かれました。今までなら、公休中のケアマネジャーに電話をかけて対応をしなければなりませんでした。今回は、支援経過をみて、ヘルパー事業所に返答する事ができました。仕事がスムーズに進んでよっしゃ！と思いました。
評	ご利用者の生活を支えるための調整はいつ必要になるかわかりません。ですが、問い合わせへの返答や困りごと解消のための調整は、担当者が不在でもスムーズに対応できることにより、信頼につながります。スムーズな対応には情報の共有が不可欠で、作成されたソフトのおかげで、ご利用者にも、家族にも、サービス事業所にも、対応するスタッフも、主の担当者にもメリットのある、活用できる良いソフトだと思います。 ご利用者等から信頼いただける対応ができたと感じ、効率よく業務を実施できることが実感できると、1人1人の職員が対応できる範囲を不安なく広げていくことにも繋がると感じますので、今後もどんどん業務改善をはかっていただきたいと思います。 今回投函されたよっしゃ！カードの中に、F 様のアシストのおかげで業務がつつがなく流れるようになった(流れた)と、『あの人のよっしゃ！』が3件ありました。施設内の困りごとへの配慮があること、相談しやすい雰囲気をつくっておられること、あったらいいなを実現できるスキルを磨いておられること、ケアマネジャー業務をしながら合間の時間をみつけていただくことは大変かと思いますが、今後も継続して宜しくお願いします。

アイデアよっしゃ！

1. こういう地道な工夫がいつか世界を救うのではないだろうか 賞

投稿者	D 様
プロフィール	みのり館 CW 2019年入職
内容	普段車椅子利用で単独では移乗、移動されないご利用者が、ご自分でベッドから降りられフロアに出てこられた際に、留置されているバルーンカテーテルのコネクターが引っ張られ抜けてしまいました。ベッド柵にかけてあった蓄尿袋がはずれずに体だけがベッドからはなれていったために起こったことです。今後も不意にご自身で移動されたときに、一緒に袋もついてくる事ができればコネクターがはずれずに済むと思い、可動式の固定台を作ってみました。 頭部後屈防止のための、スタンダード車椅子で頭部の支えのヘッドレストを作りました。後屈により顎があがり、食事の誤嚥につながるよう姿勢保持ができ、誤嚥防止に役立てば嬉しいです。
評	以前からこういった思いを持って継続して取り組まれていることはすばらしいと思います。ご利用者の様子を観察し、課題をみつけ、緩和できる方法を自分で考えて、形にする力があり、自分が施設に貢献できることをしっかり認識して遂行されています。 個々の状況にあわせることは難しく試行錯誤されていることや、自分の担当ユニットだけでなく、他のユニットでも使用できるようにと共有されていることも、ご利用者のためにと言う思いが強く伝わってきます。

総評	今月も素敵な「よっしゃ」がたくさんあって、選考には苦労しました。 ちいさな気づきが、なんとかしたいという思いになり、よしやってみようという動機になる。 福祉の仕事は、伝わってなんぼ。形になってこそ相手に伝わります。 ニーズをキャッチしてから身体が動くまでの導線が繋がっているかどうか、それが大切なのだとあらためて感じさせてくれる、今回のよっしゃ大賞でした。
----	---